

市政この一年を振り返る

「5万人都市再生」を目指し平成23年6月17日に誕生した西村市政。基金残高（預金）を増やすなど、計画的に安定した財政運営を持続させながら、中学3年生までの医療費無料化やすべての中学校での給食の実施、水道料金の20%値下げ等、人口増施策に積極的に取り組んできました。しかし、人口減を止めることはできていません。一方で、出生数が300人台に回復するといった事実もあります。

現実を冷静に受け止めながら、一つ一つの課題を明らかにして、より効果の高い施策を展開しています。任期の最終年を迎えた加西市で、この1年間どのような取り組みが行われているのか、その一部を紹介します（昨年までの取り組みは、広報かさい平成25年7月号をご覧ください）。

【この1年間で決定したことや実施したこと】

子どもたちが未来に希望を持ち、いきいきと活動するために

●学校施設の耐震化で安全安心の学校づくり

新しく建設した宇仁小学校校舎では、平成26年1月から新しい学校生活スタート。泉・善防中学校の耐震補強を行い、今年度は、富田・九会・富合小学校校舎などの耐震化工事を順次進め、子どもたちの学ぶ環境を整えています。



富田小新校舎は平成27年7月完成予定

●すべての小中学校で給食実施

「北部学校給食センター」が完成し、平成26年1月からすべての小中学校で給食を実施しています。地産地消を図り農業への関心を深めるため、かさい愛菜館の新鮮かつ安心でおいしい加西市産農産物を給食食材として使っています。

●特色ある取り組みで魅力ある学校づくり

創意工夫をこらした特色ある取り組みを展開することで、地域に信頼される学校づくりを推進する「学校づくり応援事業」などで、子どもたちの生きる力を育てています。

ふるさとで働き、住む、加西が元気を取り戻すために

●若者や子育て世代の就労をサポート

平成26年1月にふるさとハローワークを開設してふるさとでの就労支援の充実を図っています。また、新しい農業の形として鶉野町で整備される「次世代施設園芸モデル団地」、新しく農業を担う人材を支援する制度も含め雇用創出を図っています。



平均50人/日の人が相談に訪れる

●歴史に残り未来へつなぐ播磨国風土記1300年

平成26年4月には、狂言師野村萬斎さんを迎えレクチャー公演を開催、10月にイベントとして第2回レクチャー公演「能にて候（仮称）」を実施します。来年5月4日の1300年祭に向けて、応援隊をはじめ市民のサポートを得てこども狂言塾も練習をスタート。

●魅力あふれる住宅地整備、要件緩和で活用しやすい補助制度

旧下里小学校跡地は「ベルデしもさと」として平成27年4月から28区画を分譲予定。また、西高室地区での住宅地整備、建築規制の緩和、賃貸・持家に対する各種補助制度によって加西市への定住を支援しています。

すべての人が安心して暮らしていくために

●子育て世帯をしっかりサポート

子どもの医療費無料化や第2子以降の保育料助成、放課後の子どもたちを預かる場をすべての小学校で提供、病児・病後児保育の4月開設、幼保一体型の施設整備によって安心して子育てできる暮らしを実現しています。



1歳から遊べる遊具もあり、親子で楽しく遊べます(玉丘史跡公園)

●**身体と心の健康づくりで充実を**

すべての人が健康づくりに積極的に取り組み地域で活躍できるよう健康増進センター・健康課・地域包括支援センターを健康福祉会館へ移転し、保健・福祉の拠点として充実させています。

●**防犯・防災で安全・安心**

通学路等の防犯対策のため、防犯灯 3,200 灯をすべて LED 灯に交換。

地球に優しい新エネルギー普及や自然との共生社会に向けて

●**住宅用太陽光発電への設置支援やため池発電**

太陽光発電システム設置の補助を継続し、新エネルギーによる電力自給率を高めます。また、ため池を活用した太陽光発電を推進します。



サギソウ

●**綱引湿原などを野生生物保護地区指定**

平成 26 年 6 月に綱引湿原ほか 2 つの地区を野生生物保護地区として指定し、県下でも有数の大きさを誇る湿原を地域と一体となって守り未来に残していきます。

●**ごみ処理広域化と指定ごみ袋値下げ**

環境負荷の低減される循環型社会に向けて、ごみ処理の広域化計画を推進しています。

地域が自らの意思で地域課題に取り組み、ふるさと加西が活性化するために

●**ふるさと創造会議設立の動きが活発化**

地域に暮らす人々の意見で、それぞれの地域の幸せが実現できるような地域づくり組織「ふるさと創造会議」の設立に向けた動きが各小学校区で活発となってきました。しっかりと議論を熟成させ、設立に向けた動きを応援しています。



西在田小学校区での円卓会議

●**若者や女性がいきいきと地域で活躍できるまちづくり**

若者のニーズに対応するため、民間企業や NPO 法人などと連携して「であう」「くらす」「はたらく」「まなぶ」というテーマごとに婚活講座や起業支援などを「若者主役計画」として実施しています。

●**米国ブルマン市と交流再開**

子どもたちが国際感覚を身につけ、より多くの可能性にチャレンジできる環境を整えています。

北条鉄道の活性化も着々と

●**年間旅客数が、開業（昭和 60 年）以来 2 番目の 34 万人に回復**

- ・地元住民や企業からの寄附、ボランティアによって北条鉄道各駅のトイレ更新が完了
- ・「法華口」「播磨下里」「長」3 駅が国登録有形文化財として登録
- ・法華口駅に 7 m 三重塔が寄贈され、地域のランドマークに
- ・来年 4 月、播州鉄道開通 100 周年・北条鉄道開業 30 年記念イベント開催予定



法華口駅に設置の三重塔

ふるさと加西は大きな力を持っています

それぞれの地域に暮らす人、モノ、自然には、とてもすばらしい価値があります。地域の人々がつながり、さまざまな力を引き上げ、足し上げていくことで、地域はその輝きを増し、幸せにあふれた未来を創造できると確信しています。

タウンミーティングをはじめとする意見交換で、ていねいに熟成した議論を重ね、市政に反映していきます。市民の皆さんと人口減少という厳しい課題を共有し、すべての地域が一体となって、ふるさと加西のすばらしさを子どもたちに伝え、未来へ残していけるまちづくりを共に進めていきます。

人口推移（各年 3 月 31 日時点）

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
人口総数（前年比）	48,405 人（△ 575）	47,733 人（△ 672）	47,205 人（△ 528）	46,672 人（△ 533）	46,141 人（△ 531）